

2103 那珂遺跡群第184次調査 (NAK-184)

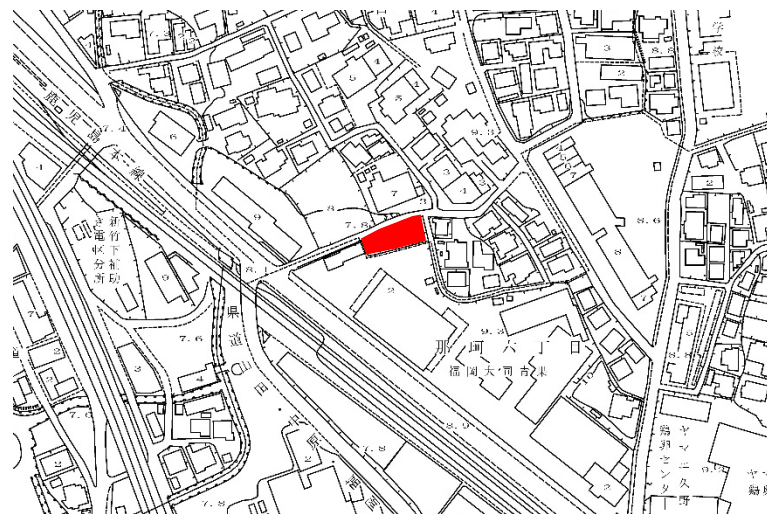
所在地 博多区竹下5丁目20-15、20-13
調査原因 個人住宅
調査期間 2021.4.8～2021.5.24
調査面積 248m²
担当者 木下博文
処置 記録保存

調査の概要

那珂遺跡群は御笠川と那珂川に挟まれた低位段丘上に展開する弥生～古墳の集落跡である。今回の調査地点は遺跡の南西端部に位置する。

今回の調査ではピットその他、一定の幅を保ちながら並列する溝2本を検出した。道路の側溝の可能性が高い。溝から古墳時代後期～古代の須恵器蓋杯・土師器把手・瓦片、12世紀代の中国産磁器・滑石製石鍋片が出土しており、長期にわたって使用されたとみられる。また道路の走向は敷地の北を通る現代道路と同じであり、この地域の地割に強い影響を与え続けてきた可能性がうかがえる。

出土遺物は調査全体でコンテナ7箱分に上る。



1. 調査地点の位置 (38 塩原 0085 S=1/4, 000)



2. 東側調査区全景 (西から)